

CT検査を受ける皆様へ

1. CT検査とは？

CTとは、日本語ではコンピューター断層撮影法といい、X線を360度から照射し、コンピュータ処理によって、体の断面を撮影する検査です。

2. どうしてCT 検査をするの？ ～CT 検査の有用性～

通常のX線検査ではわからない体の内部や微細な病変を抽出できることが可能で、情報量が多く診断・治療の方針決定に有用性の高い検査です。
また、短時間で広範囲の撮影ができ、急を要する際の検査としても適しています。

3. 被ばくの影響について

CT検査では撮影部位・体格・範囲や撮影手法により異なりますが、頭部や胸部で2～8ミリシーベルト程度、腹部で10～30ミリシーベルト程度の被ばくがあります。被ばくが100ミリシーベルト未満であれば、放射線検査を受けた人も受けなかった人も、**発がん率や遺伝的な影響の差はないと言われています。**
通常のCT検査では、100ミリシーベルトを超えることはありません。

※「ミリシーベルト：mSv」とは放射線の単位の1つであり、実効線量を表します。がんや遺伝的影響など、体全体が受けたダメージの度合いを評価する場合に用いられます。

4. 被ばく線量を少なくする取り組みについて

当院では、撮影条件を体形に合わせて適切に調整する機能や従来通りの画像を維持しながら、少ないX線量で撮影する技術を利用し、被ばく低減とCT画像の画質安定を実現しています。

不安なことやわからないことがありましたら、遠慮なくご相談ください。